

## はじめに

nennelatteは、日本のメーカーならではの安全基準で製作しています。本製品は、対面抱っこ専用です。前向き抱っこ、よこ抱っこ、おんぶはできません。セーフティクロスを巻かずに抱っこすることや、お子さまの腕を肩布から出した状態での抱っこは行わないでください。お子さまが落下する危険性があります。

## 使用できるお子さまの月齢

※お子さまの発育により、同じ年齢でも体格や体重には個人差があります。

対面抱っこ：生後14日(体重3.2kg以上/身長51cm以上)～24カ月(体重13kg)まで  
※生後14日～首がすわる(4カ月頃)までは必ず付属のヘッドサポートをつけてご使用ください。  
※0カ月～1カ月まではSGマーク制度の対象外です。



対面抱っこ



ヘッドサポートで頭を支えます。  
! お子さまの首がすわるまでは必ずヘッドサポートで頭を支えるようにしてください。

【使用者対応サイズ】  
女性=Sサイズ～XLサイズ  
男性=XSサイズ～Lサイズ  
※一般的な衣服サイズを目安としております。体格によっては装着できない場合もあります。

## 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、使用前に必ず取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

**警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- nennelatteは対面抱っこ専用抱っこひもです。横抱っこ、前向き抱っこやおんぶは落下の危険があるためできません。
- お子さまが開口部から落下するおそれがあります。体を傾ける際には、お子さまが落下しないよう手で支えてください。また、頭が下向きにならないよう腰を曲げるのではなく、膝を曲げるようにしてください。
- 正しく調節し、バックルなどの固定箇所を確実に締めてください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 使用中に大きく前かがみしないでください。お子さまが滑り落ちる可能性があります。
- 生後14日(体重3.2kg以上/身長51cm以上)～首がすわる乳児期(4カ月頃)までは必ず付属のヘッドサポートをつけて使用してください。※0カ月から1カ月まではSGマーク制度の対象外です。
- 生後4カ月未満の乳児は、保護者の体に顔を強く押し当てられると窒息するおそれがあります。
- 乳幼児を保護者の身体に強く縛り付けず、頭部を動かす余裕があるように装着してください。
- お子さまの気道をふさぐことがないなど、状態に注意しながら使用してください。
- 早産児及び呼吸器疾患等のお子さまへは使用しないでください。ご使用については医師に相談してください。

**注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容を示します。

- 着脱時は、可能な限り低い姿勢や安全な場所で行うようにしてください。他の人に介添えいただくより安全です。
- お子さまがそり返ったり、動いて安定しない場合は使用しないでください。
- 使用前には、やぶれ、ほつれ、傷、バックルなどが破損していないか確認してください。また、破損している場合は使用しないでください。
- 抱っこ時は、お子さまの頭で前方、特に足元の視界が妨げられないよう装着し、歩行時にも注意してください。
- バックルの開口部またはすき間にお子さまの手指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。
- 授乳後30分間はおなかを圧迫することがあり、消化吸収を助けるために使用しないでください。
- 連続して使用する時は、体調の変化や装着状況を確認する必要があるため、2時間以下の使用にしてください。
- 体調がすぐれない時や、体に痛みを感じる時は、使用しないでください。
- 飛行機、車、自転車、バイクでは使用しないでください。
- 火気の近くでの使用はしないでください。
- 汗や水で湿った状態で強い摩擦をうけると、他に移染するおそれがあります。
- 直射日光のあたる場所に保管しないでください。また車の中など高温になりやすい場所に保管しないでください。(劣化や変色するおそれがあります)

**点検について**  
●ご使用前に、調節具などの樹脂部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、傷がないことを確認してください。異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

抱っこひもの耐用年数は、購入日より3年間となります。  
3年以上ご使用の場合、生地などの経年劣化により本来の性能を果たせず危険をまねくおそれがあります。ご使用をお控えください。

## 品質保証（アフターフォロー）について

- 使用方法などでご不明な点がございましたら遠慮なくご相談ください。
- ご購入日から1年間無料修理いたします。
- 購入してから1年以内にユーザー登録をしていただく品質保証が2年延長されます。(3年保証になります)



- 必ずご購入上げ日を証明できるもの(レシート・明細書等)を保管してください。
- 弊社までの送料はお客様負担となります。(初期不良の場合を除く。)
- 初期不良・部品の欠品などの場合、送料や修理代を負担いたします。

### 保証の対象外となる場合の内容

- ご購入日から1年経過した時。
- ご購入上げ日を証明できるもの(レシート・明細書等)がない。
- 2次使用(ご友人からのおさがり、リサイクルショップ・フリーマーケットなどの中古品ご購入など)。
- 自然の消耗・サビ・カビ・変色・虫食い等。
- お客様の故意・誤った使い方やお手入れ・改造による故障や損傷。
- 火災や外部要因などによる故障や損傷。

アフターフォローの連絡先

ラッキー工業株式会社  
[サポートダイヤル] TEL:0585-45-7425  
受付時間:9:00～12:00 13:00～17:00 (土、日、弊社定休日を除く)

SGマーク制度について

SGマークは、製品安全協会が定めるSG基準に適合するものとして認証された製品に表示される安全・安心マークです。SGマーク付きの製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められ場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。抱っこひもの場合は、ご購入日より3年以内が有効期間となります。

●SGマーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです  
・たて抱っこ対面  
生後1カ月～24カ月(体重13kg)まで

●賠償についてのご注意  
SGマーク付き製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも障害などの身体的損害(人的損害)について賠償する制度です。

## お子さまの降ろし方



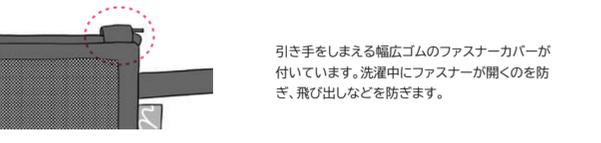
1. セーフティクロス、ヘッドサポートを外し、お子さまの頭を片手で支えながら肩布をお子さまのお尻の下にずらします。
2. お子さまをゆっくりベッドなどに寝かせます。使用者の胸をお子さまに触れながら降ろすと寝ているお子さまが起きにくいと言われています。
3. 肩布からお子さまの足を抜きます。

## お手入れ方法

### 洗濯についてのご注意

- 洗濯については製品に縫い付けの組成表示ラベルをご参照ください。
- 色落ちする場合がありますので、他の洗濯物とは別けて洗ってください。つけ置き洗いも避けてください。
- 洗濯ネットに入れて洗ってください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布で汚れた部分をたたかようにして落としてください。
- 漂白剤、蛍光増白剤入りの洗剤は使用しないでください。
- 脱水機、乾燥機の使用はしないでください。樹脂部品が破損するおそれがあります。
- アイロンはあ布を使用してください。

### 収納袋（洗濯ネット）について



引き手をしまえる幅広ゴムのファスナーカバーが付いています。洗濯中にファスナーが開くのを防ぎ、飛び出しなどを防ぎます。

## 使用中に気をつけること



! お子さまの落下防止のため、かかんだり物を拾う際には必ず膝からまげてください。



! お子さまが肩布でしっかり包まれているか注意しながらご使用ください。もし緩んでいる場合は、布を広げなおしてください。



! お子さまの腕が肩布から出た場合は必ず腕を入れなおしてください。

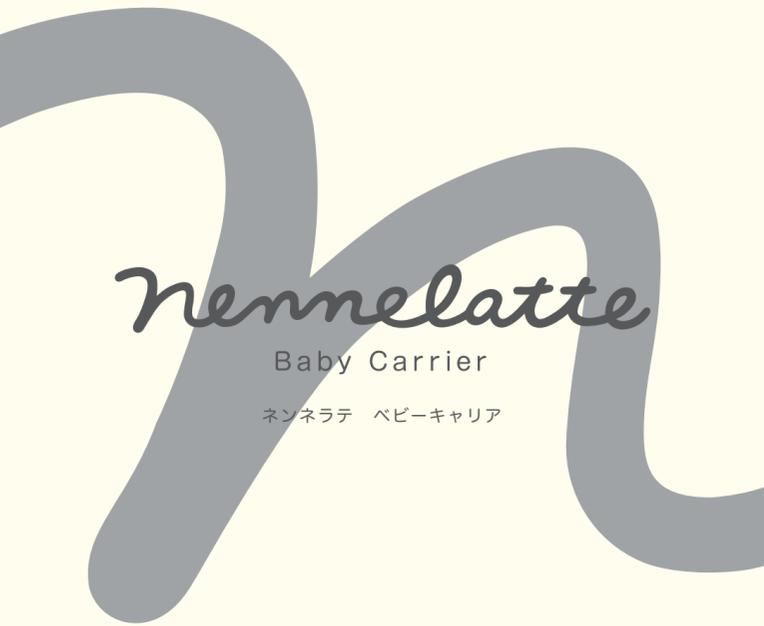


### ラッキー工業株式会社

〒503-2423 岐阜県揖斐郡池田町青柳 83-8  
TEL：0585-45-7425 SG 登録工場 第31-001号  
生産物賠償責任保険 (PL 保険) 付

※安全基準等により、仕様が予告なしに変わることがあります。製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら上記までご連絡ください。

TP00031  
SN22-02



## 取扱説明書

ご使用前に本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
また取扱説明書は大切に保管してください。  
本品を他の方にお譲りになる際には、必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

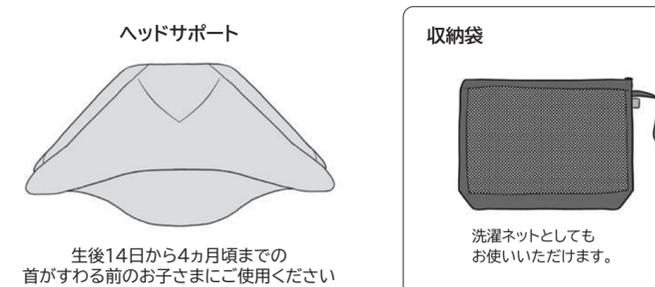
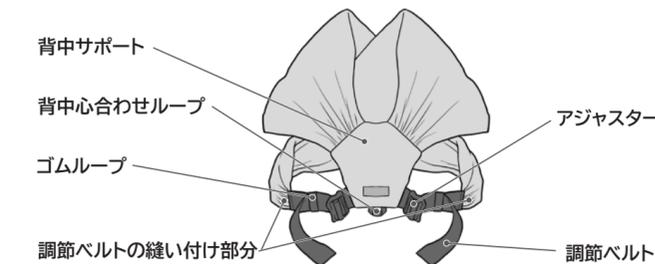
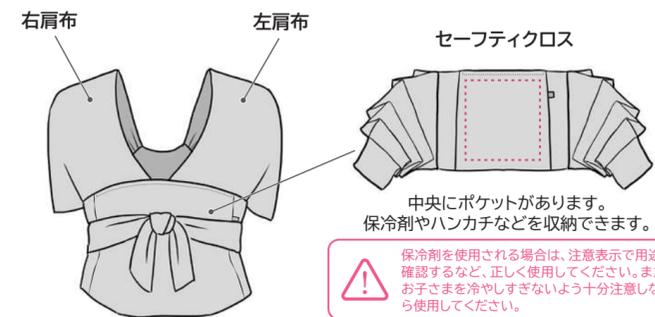


使い方動画はこちらでご覧ください。



nennelatte ホームページ  
http://nennelatte.jp

# 各部の名称



基本装着 (チェックポイント)

対面抱っこ (M字姿勢)

装着後のチェックポイント

# 基本装着 ~お子さまを抱く前に~

より簡単・快適に装着していただくために、取扱説明書に併せて使い方動画もご覧ください。

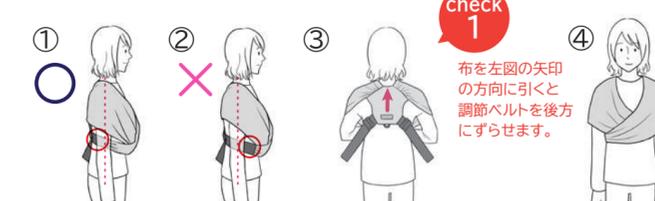


1. 抱っこひもを広げます。(ピンク色部分は頭を、ミドリ色部分は腕を通す場所です。)
2. 頭からかぶります。
3. 両腕を通します。



4. 暫定完了です。
5. 肩をしっかり包めるよう、肩布を広げます。  
肩布がぬじれている場合、「肩布の見分け方」を参考に直してください。(右ページ)
6. 抱っこひもがクロスする部分を手で下に押し、おへその上あたりになるように調節ベルトで長さを調節します。

## 調節ベルトの理想的な位置



1. 調節ベルトの縫い付け部分(アカ色の丸印)が身体の中心よりも後ろの位置になるようにします。
2. 調節ベルトの縫い付け部分が身体の中心より前に出る場合は③のように背中サポートを首に近づけるように移動して①の位置になるように調節してください。
3. 理想的な位置の完成です。

## 調節ベルトの締め方・緩め方のコツ

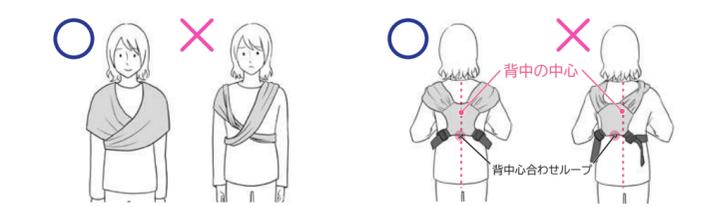


## 肩布の見分け方



## チェックポイント

正しい装着ができていない場合は、装着し直してください。

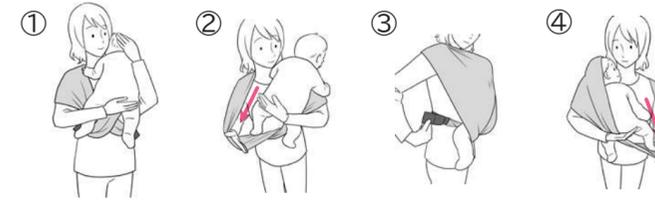


- 肩を布でしっかり包めていますか？  
×布で肩をしっかり包めていない場合、身体への負担が増します。
- 背中サポートは背中を中心にありますか？  
×背中サポートが背中を中心に無いため、身体への負担が増します。
- 布がぬじれていませんか？  
×布がぬじれていると広げにくくなるため、お子さまの背中とおしりを十分に包めず落下の危険性につながります。

# 対面抱っこ

首がすわっていないお子さまを抱っこする場合は、必ず頭を支えながら装着 手順を行ってください。抱っこひもに慣れていない場合、ソファなど座った状態で行うことをお勧めします。お子さまの腕は常に肩布の中に入れてください。

より簡単・快適に装着していただくために、取扱説明書に併せて使い方動画もご覧ください。



1. 基本装着後、お子さまをげがをさせるような位置で抱きます。
2. 右肩布を広げて、左脚から抱き入れます。
3. 使用者の腕が出ているところと同じ空間にお子さまの脚を通します。おしりを含む左半身をカバーできるまでしっかり布を広げます。
4. 左肩布を広げて、右脚を通します。



5. お子さまのおしりと太ももと背中全体を支えられるよう、しっかり布を広げます。
6. 調節ベルトがお子さまの脚にあたる場合は、check1を参考に装着しなおします。
7. お子さまのおしりがキズできるくらいの高さになるように片手でお子さまのおしりを支えながら片側ずつベルトを調節します。

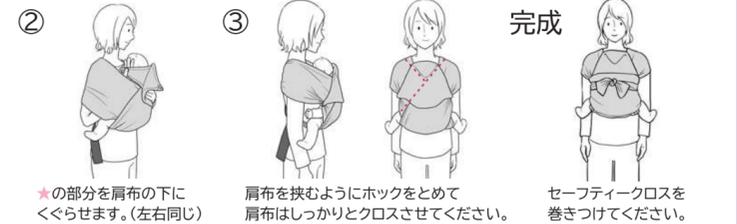
## セーフティクロスの理想的な巻き方

お子さまの落下を防ぐために、セーフティクロスは必ずご使用ください。



8. セーフティクロスにあるポケットを中心の目安にして、お子さまの脇からおしりを包むようにして背中に戻します。
9. セーフティクロスを使用者の背中と交差させ、前面に戻します。
10. セーフティクロスをお子さまの脇の下の高さでしっかり結んで完成です。

## ヘッドサポート使用の場合



★の部分(左右同じ)を肩布の下にくぐらせます。

肩布を挟むようにホックをとめて肩布はしっかりとクロスさせてください。

セーフティクロス巻きつけてください。

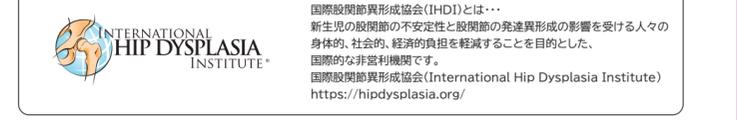
生後14日から生後4か月頃までの首がすわる前のお子さまは必ずヘッドサポートをつけてご使用ください。  
※0か月～1か月まではSGマーク制度の対象外です。

## M字姿勢 ~健やかな成長のために~

nenelatte は、[IHD / International Hip Dysplasia Institute]から股関節にやさしい抱っこひもとして認定されています。健康な股関節発達のためにも、お子さまのM字姿勢をサポートしましょう。



M字姿勢とは、お子さまのおしりがひざよりも下にある状態です。この姿勢を保つために抱っこひもでおしりと太ももをしっかりサポートすることが大切です。



# 装着後のチェックポイント

正しく使うことで、安全に・快適に抱っこすることができます。



この抱っこひもは対面抱っこ専用です。横抱っこ、前向き抱っこ、おんぶはしないでください。



落下防止のため、お子さまの腕は必ず肩布の中に入れてください。M字姿勢を保つためお子さまの足は必ず出してください。→M字姿勢の説明はcheck2をご覧ください。



落下防止のため、必ずセーフティクロスを使用してください。布で肩を幅広く包んでいない場合も身体への負担が増すため快適な抱っこができません。



お子さまの首がすわるまでは必ずヘッドサポートで頭を支えるようにしてください。  
※0か月～1か月まではSGマーク制度の対象外です。



お子さまの位置が低すぎると十分な密着抱っこができないため、落下の危険性につながります。



背中サポートが背中を中心に位置するように、背中心合わせセループを使い調節してください。背中サポートが背中心からずれている場合、身体のバランスが崩れ、密着抱っこができません。落下の危険性につながります。



調節ベルトにお子さまの脚があたる場合は、抱っこひもを装着しなおしてください。調節の仕方は基本装着のcheck1をご覧ください。



窒息防止のため、お子さまの口や鼻がさえぎられていないか確認してください。お子さまを過度に締め付けていないかご注意ください。お子さまと使用者の胸の間に手のひらが無理なく入るくらいが適正です。